

「民主主義鍛える契機に」

元官房副長官の齋藤勤氏が代表理事を務める「勁草塾」の講演会が11日午後6時半から、那覇市久茂地のタイムスホールで開かれる。日本総合研究所の寺島実郎会長が「世界の構造変化と日本の2019年〜東アジアと日本」、TBS報道特集の金平茂紀キャ



11日の講演会の狙いなどを語る齋藤勤元官房副長官(元衆院議員) 〓那覇市の沖縄タイムス社

齋藤氏主宰「勁草塾」の講演会

11日 寺島・金平氏迎え那覇で

スターが「沖縄の民意と向き合ってきた」をテーマに講演する。齋藤氏に講演会の狙いなどを聞いた。(聞き手〓政経部・福元大輔)

―勁草塾の講演会は4回目となる。今回の狙いは。

「寺島さんには世界中が激動し、混沌とする先行きの見えない状況をどう考えるか、的確に語ってもらいたい。寺島さんの言葉を借りれば『羅針盤なき世界』であり、手本がない中で、新しい地平を切り開かなければならない時代になった。そうはいっても人間が歩んできた道、

歴史の中にヒントがあるかもしれない。多角的な分析を通し、進むべき道を見つけた」

―もう一人の金平さんはジャーナリストとして、長きにわたって、県民の中に入って、徹底的に取材している。辺野古にも足しげく通い、生の声を聞き、政府に届かないものか、しさも痛感している。翁長雄志知事が亡くなり、その後に玉城デニー氏が新知事になった。それでも応えない今の政治、政府に対して、2月に県民投票、4月に衆院沖縄3区補欠選がある。政治日程を頭に入れ、沖縄の民意と向き合ってきた立場から講演してくれると思う」

―県民投票との関連は。

「県民投票のスケジュールは頭にあった。県民の方々にこういった講演会は、参考にしていただけではないか。民主主義が壊される事態が、世界で、そして沖縄でも起きている。このままでいいのかという時期に、県民投票で直接的な民意を示すことは大きな意義がある。民主主義が問われている。というより、民主主義を鍛え直す機会になるのかもしれない」

講演会は、資料代として会費500円、学生無料。参加申し込みは勁草塾沖縄事務所、ファクス098(8331)5875。